

今年の採ったヨ！ 2016年振り返りダイジェスト

体験農園ベジフレの2016年の活動をダイジェスト版でお送りします。

今年は前半好天に恵まれ、作物の生育も上々。夏から秋にかけての収穫もできるように、「サトイモ」や「サツマイモ」も初めてチャレンジしましたね。

しかしながら、ネキリムシとの闘いには完敗といったところで、ホウレンソウ、キュウリがNGといったところが大半でした。

秋以降は、天候不順のため、作物の生育が悪く、リベンジを期したホウレンソウも観測史上初の関東地方積雪により大ダメージを受けました。

ハクサイもアブラムシの大発生により半数が壊滅。

3回目のシーズンですが、野菜作りがいかに気候要因に左右されるかが「体験」できた1年だったように思われます。



今年度のスタートは「キノコプロジェクト」のシイタケのホダ木づくりから。残念ながら、未だ顔を出さないシイタケ君。いつその姿を拝むことができるのか？

キャベツにブロッコリーと今年はアオムシ、ヨトウムシの害も少なく、快調に収穫できましたね。

枝豆、インゲンなどの豆類も順調に育ち、インゲンは相変わらず食べきれない程の収穫量。



ジャガイモも定番から変わり種までたくさんの種類を植えました。収穫量には差があったようです。

ズッキーニに大玉トマト。ズッキーニは全般的に良好でしたが、枝が折れてしまったり、活着が悪く成長が良くなかったところもあったようです。大玉トマトは3年目にしてようやく成功した方も多かったのでは？

アワノメイガの幼虫から守り切ったトウモロコシ。収穫寸前に、ハクビシンかタヌキに襲われるという緊急事態！ウルフパワーでの防衛戦。

食の菜時記



何といっても、個人的なヒット野菜は「オカヒジキ」。そもそもヒジキ嫌いな私は先入観いっぱい、いったい何なのかさっぱり分からないままもじゃもじゃと茂るのを傍観していましたが、調べてみると「ヒジキ」とは名ばかりで、ケイトウなどの仲間の「ヒユ科」の植物。Bカロテン、カリウムなどが豊富に含まれて、歯ごたえはシャキシャキとして美味しいとの情報。

そんな訳で、湯がいてアクをとり、ごま油と岩塩でナムル風に仕上げ美味しくいただきました。

ベジフレでなければ、おそらく出会うことのない野菜だったでしょう。



サツマイモにサトイモ。ジャガイモ以外のイモ類にも初チャレンジ。

どちらも美味しかったですねえ。



コールラビなど面白野菜にもチャレンジ

大根、カブ、ニンジンなどの根菜類はなんとか元気に育成。ニンジンは今シーズンは、梅雨入り前に播種した成果で比較的発芽率も良かったようです。

コマツナ、ホウレンソウ、ミズナも早撒きエリアは、ぎりぎり育成中！

今年作った野菜リスト(夏20種+α・冬10種+α)

キャベツ・ブロッコリー・コマツナ・ホウレンソウ・その他葉物(夏&冬) / トウモロコシ・インゲン・エダマメ・アマナガ・ピーマン・オクラ・モロヘイヤ・トマト・キュウリ・ズッキーニ・オカヒジキ・ナス・ジャガイモ(夏) / サトイモ・サツマイモ(秋) / ニンジン・ハクサイ・カブ・ダイコン・ネギ(冬)

しゅんの



旬! 僕も今年の天候にはやられました...

夏の北海道のタマネギ壊滅、関東地方11月積雪初観測など、僕たち生産家も今年の気候にはやられっぱなしです。

とはいえ、ダメな作物があれば、いい作物があるのも事実です。皆さんも圃場の様子から野菜マーケットが垣間見えた1年だったのではないのでしょうか。

野菜作りを通して、そんな背景に関心を持っていただければ。なんて思いました。

スタッフ後記

2016年今年の漢字は「金」。そうかと言えば、そうですが、毎年無理くり一文字に世相を反映というのも「何だかなあ。」と感じます。「流行語大賞」も然り。更には、今年の一皿「パクチャー料理」ときました。いちいちcheckしている自分にも笑っちゃいますが、まあ万人が腑に落ちるなんてことは無いんでしょうね。

さて、ベジフレの野菜の出来具合も各会員さんそれぞれ、「なんであそこはほとんど来ていないのに、あんなに育ってんだ?」なんて思いもお持ちかと。偶然でも様々な要素がバランス良く整うと、思わぬ結果となるようです。とはいえ、偶然に頼っていては、次が上手く行くとは限りません。人事を尽くして...。というように、トライ&エラーから知識と経験を積むことが、一歩踏み込んだ「農」への関わり方なのかと思います。

サイコロ転がして100点とつても得るものはありませんよね。野菜が欲しければ買えばいいだけですから。